なんばた探訪 PART１

富士見サイクリングコースを歩こう・走ろう！

風薫る良い季節となりました。
今回は青空の下、歩いてもよし、自転車で風をきるのもよし、という「なんばた探訪」を特集しました。
皆さん、普段とは違う「なんばた」を探しにでかけてみませんか？

（担当／新井博海、渋谷真実、表紀子、松下佳子、武田圭太）

市民の健康増進や自然に親しむための施設として、昭和47年に富士見サイクリングコースが設置されました。起点は大字勝瀬伊佐島（伊佐島橋付近）から終点の貝塚２丁目（木染橋）付近。延長２，８５０ｍです。

当時は、木染橋の近くでサイクリング用自転車の無料貸出がありました。（現在はありません）

今でこそ、どこも舗装された道ですが、でこぼこのない道をまっすぐに自転車が走れるコースは画期的だったのかもしれませんね。

①サイクリングコースの看板

木染橋から鵜橋までの間は、春は、竹ノ内の桜、秋は、貝塚のコスモスが楽しめます。

②竹ノ内の桜並木

江川沿いには平成24年に富士見江川サイクリングコースが設置されました。

鶴馬３丁目（打越市民農園）付近から鵜橋付近までの延長１，０４８ｍです。

③鵜橋

鵜橋を渡り、新河岸川方面へ行きましょう。

④河川管理の境界

河川管理の境界看板を過ぎて新河岸川沿いに戻りました。

途中、２５４バイパスをくぐるトンネルがあります。富士見市青少年育成市民会議環境浄化部会による、かわいい絵が描かれています。

⑤254バイパス

本河岸樋管です。

⑥本河岸樋管

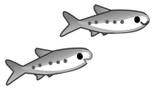
今回のゴール、南畑橋が見えてきました。

⑦南畑橋付近

《取材を終えて》

今回は「富士見サイクリングコース」の木染橋から南畑橋までを歩いてみました。

新河岸川沿いから見える富士山や四季折々の花。川面では、つがいや親子の鴨が集い、魚が跳ねると波紋が広がる。

高台から見渡すと、いつもの見慣れた風景も違って見え、新しい発見もありました。

サイクリングやジョギングコースとしても多くの方が利用しているので、交通ルールに気をつけながら楽しんでみてはいかがでしょうか。